

平成22年11月10日 14時00分～15時15分 市長公室

・出席委員

齊藤委員長、井上副委員長、山下委員、小野寺委員、高田委員

・事務局（政策調整課）

山崎課長、川島主査、酒井主査、徳橋主事、長谷川主事

会議録

1 行政評価外部評価報告書（案）について

（1）報告書（案）の内容について

【事務局から説明】

事務局として若干作業に時間を要してしまい、お手元に届くのが遅くなり申し訳ございませんでした。

・P1～2 「6. 外部評価の結果」については、委員長と協議の結果、行政が各部署において行政評価した「施策達成度報告書」で外部評価をしたという部分をわかりやすい表現で加筆した。

・P3～ 評価結果として、審議した会議録を基に作成。
評価いただいた順番で委員会の指摘・各部署の対応として記載。委員長が最終的に意見集約した後のコメントを基に、適切・概ね適切・要検討・意見の4つの区分で評価し、最後に委員の意見を集約した。評価の理由をコメント欄に簡略的に記載した。

・P38 第5次江別市総合計画施策体系及び評価対象施策を添付し、評価年度を記入することで、31施策あるうちの6施策を実施したということをわかりやすいようにした。

・資料編 審議する際に配布した施策達成度報告書、主要事業一覧を添付する。

【齊藤委員長】

評価の主体をはっきりして欲しいということと、外部評価の結果の部分に「総評」として全体に渡っての部分を加えてもらった。

～ 報告書の確認 ～

【井上副委員長】

委員会の結果を声として出せるまとめ方でとてもありがたかった。

～ 評価結果の確認～

言葉づかいについては、この方がわかりやすいのではないかという意図で疑問系のままで表現している。

まとめ方については、文章化するより表にするほうが見やすいという印象を受ける。

【井上副委員長】

コメント欄について、表現が短く言い切り文になっている。統一した表現にした方が
良い。

【事務局】

他に合わせて簡略化して統一的な文言に修正する。

【齊藤委員長】

概ね適切なコメントとして「研究課題あり」という言葉づかいもあるが、それについ
てはどうか。

【井上副委員長】

評価としては、概ね適切だが、部分的に検討が必要ということ。「研究課題あり」も「検
討して研究しなさい」ということである。項目をしっかりと統一していく方が読みやすい
ので、全体的にかえていただきたい。

【井上副委員長】

一つの項目の中の罫線が、全部同じ太さの実線になっているので、細い線にするなど
し、項目ごとの括りがわかるようにした方が見やすい。

右上の【参照：資料】を右よりギリギリにした方が見やすいのではないかと考える。

言葉の中では、訂正必要なところが何箇所かあったので、もう一度推敲していただき
たい。

【齊藤委員長】

文章の書き出しが、1字空けたり、空けなかったりしている。全体的に統一した方が
良い。項目欄についても、センタリングや右よりなど統一した方が良い。

【山下委員】

苦勞してまとめていただき感謝することところである。

見やすさに共通するところであるが、施策と基本事業が同じ形で見えている。施策体
系の一覧表はあるが、施策があつて基本事業があるということがわかりにくい。基本事
業が施策にぶら下がっているというのがわかりやすい見え方で表現した方が良い。

【齊藤委員長】

各委員からの指摘・意見等については、報告書の訂正を行なっていただきたい。検討
していただく指示もあったかと思うが、事務局で対応願う。

以上でよろしければ、今回の指摘事項は事務局の作業後、委員長・副委員長をもって、
確認の上、最終的な報告書として調製したいという考え方を持っているが、委員の皆さ
んいかがでしょうか。

【 委員了承 】

(2) 市長への報告書について

お諮りしたい事項として、この報告書を評価結果として市長にお渡ししたいと考えて
いる。日程等については、事務局より説明する。

【事務局】

市長が多忙ということもあり、委員長・副委員長の日程から確認させていただいた。

11/18（木）午前10時半から、市長公室で報告書を市長に手渡すということをお願いしたいと思っている。各委員におかれましても、日程が合いましたら、その日来ていただければと思う。30～40分程度と考えている。

（3）外部評価作業について

外部評価作業について、皆さんから何か感想や提案等をいただきたい。

【井上副委員長】

評価した数は少ないが資料として十分いただけたと思っている。ただ、ヒアリングをする際、担当者の方が夢を語る時間というものがない。行政は市民に夢を与える施策などを検討している場所だと思う。現状あるものだけではなく、先を読みながら動いているということが、掴み取れば、こちらの受けとめ方も変わったのではないかという気がする。期待が大きいだけに、ヒアリングの時には、質疑応答にとどまることなく、方向性を示しながら将来展望を語る場面があって良いと思った。

【小野寺委員】

市民代表として参加しているが、市民の思いを伝えることは、なかなか難しい。市の皆さん、専門家の先生方から本当に勉強させられたという思いである。

今後の課題として、資料に使われている用語や数字、施策の指標、事業の進捗状況など、市民が理解できるものにする必要があるということである。また、市民の願いや思いを伝える一方、もっと行政の皆さんの願いや思いについても語ってもらうことで、市民と対等に話ができて、柔軟性のある、いいまちづくりの源になると思う。納得できる具体的なあるいは客観的な事実、結果責任が果たせるように、そんないい江別市になって欲しいと強く思った。ありがとうございます。

【齊藤委員長】

行政の思いをもっと言ってもらえる時間となると外部評価の話し合いの時間を、もう少しとる必要があると思う。今後の課題である。

【高田委員】

自分なりの意見を述べたが、果たしてどこまでこのことが反映できるのか。できるだけ行政に反映していただきたい。また、別の機会に予定されているようだが、産業振興・地域経済の施策や新しい公共についても議論してみたかった。

ローリングありきの作業ではなく、進行管理、進捗状況をよく見た上での計画策定に臨んでいただきたいと思う。

【齊藤委員長】

初めての外部評価ということで、新しい文化がこれから始まると思っている。できるだけ行政の思い、市民の思いを伝え確認する場として、また、進捗状況や方向性などを確認できるような形としてまとめていきたいと思う。

評価結果について、ホームページ等で公表する際、外部評価委員会としてもわかりやすいものにしていかなくてはならないと感じた。評価結果が口語調の書き方になってい

ることも、逆に伝え易いということに繋がっているように思う。

今回、このような形で、十分成果があげられたのではないかという感想を持っている。

2 その他

【事務局】

短い間に集中的な評価作業をお願いし、大変なご苦勞をおかけしてしまいました。私どもといたしましても、初めての作業でありましたので、相当、各委員においても想像を絶する辛さがあったのではないかと、本当に申し訳なく思っております。

ただ、初めて行った外部評価作業であるのに、このような形で報告書を作成するところまで来たことは、事務局として大変感謝しております。ありがとうございます。

任期は1年間という形で委嘱させていただきましたが、当初、申しあげましたように、更新し、3年までお願いしたいと思っております。作業についても、いろいろなご意見をいただきました。時間がない中で無理に行なっていくことが難しいというところもあり、一定程度、時間をとりながら行うには、1回あたりの施策数についての議論や、資料をある程度熟読する時間や事務局から情報提供できる時間なども考えると、開催頻度を下げる等、次回の外部評価委員会に向けて事務局でも検討させていただき、その結果は、また、お諮りしたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

【齊藤委員長】

事務局からの発言について何か意見はありますか。

【井上副委員長】

3年という責任も重いので、ぜひ、要望もしておきたい。傍聴されている一般市民の方は、問題意識を持って来られており、私たち委員会を傍聴してどんな意見を持たれたかという意見収集の方法を検討して欲しい。

また、評価のヒアリングの中で、課をまたがる横断的な施策についての連携に関わる説明、資料があればよりわかりやすくなると思うので、要望としてお願いしたい。

3 閉会

皆さんお忙しい中、短期間で集中した中で、評価作業を行なっていただき、大変ありがとうございます。

江別市としても、行政評価の外部評価は初めてということで、委員の皆さんがどう評価に向かったらいいかという部分で難しい面もあったかと思いますが、事務局から最初の説明があったとおり、試行としての実施であったこともあり、委員長としても不慣れであった点をご容赦いただきたいと思っております。

委員会は、来年度も続くようでありますので、江別市の行政評価が、市民の皆さんにわかりやすく伝わるよう、委員会としてもしっかりと外部評価を行なってまいりたいと思っております。

それでは、平成22年度第4回江別市行政評価外部評価委員会を終了いたします。